



男女共同参画の取り組みは、SDGsの目標達成に貢献しています。

男性の家事・育児への関わり方



ある民間企業のアンケートで、夫の育児中の家事・育児時間について32・3%の方が1日2時間以下と回答し、夫婦の満足度も低い状況にあることがニュースになっていました。現在男性の育児休業の取得が進められていますが、「とるだけ育児」も指摘されています。一方で「最近のパパは家事をよくやってる」という意見もあります。また、東京大学で「ジェンダー論」を教える瀬地山教授は、共働き世帯で男性の家事への関わり方を次の6つのステージで説明しています。(東洋経済ONLINE「妻から合格点をもらえる家事・育児超入門」参照)

ステージ0 家事・育児は「手伝つ」ものではないという意識を持つ。育児を「手伝つ」等と言えば、「誰の子どもやと思うってるが?」と非難されるのは当然です。

ステージ1 「ごみ出しは家事ではありません」。家中のごみを集めてそれぞれ分別し、集積所に持っていく、かつ次の袋をごみ箱にセットしたのなら家事になります。が、できあがったごみ袋を出していくのは、単なる「ごみとの散歩」です。

ステージ2 洗濯、皿洗い等。家事が始まるのはここからです。洗濯乾燥機や食洗機を導入するのも良いでしょう。とりあえず、女性側の負担を減らすことが優先です。

女性はダメ出ししたくなりますが、お互いに見えるように努力するという前提のもと、控えたほうが良いでしょう。

ステージ3 休日に、子どもと昼食を作る。男性がドヤ顔するのは論外です。

ステージ4 休日に夕食を作る。

ステージ5 平日に夕食を作る。男性1人で1日をこなせられれば、一通りの家事をすべて経験することになります。

砺波市役所の小学生以下の子どもがいる30代の男性職員5人にご自身の家事・育児度インタビューを実施したので、ご紹介します。



Aさん ステージ4、5はかなり難しいです。つい、やってあげたと自慢してしまってます。休日に食事を作ることはあるけど、毎週ではないし、日常的にはステージ2かな。

Bさん ステージ2ですね。妻が料理好きで作り置きしているので、1日ならなんとかできます。でも毎週となるとステージ3は難しいです。惣菜やカレーに頼るかも。特に役割分担を話し合っていないけど、手の空いた方が家事をすることになっています。



Cさん ステージ3まではできるけど、ドヤ顔してしまってます。妻よりも母からのダメ出しが…。子どもの迎え、食事の世話、お風呂、歯磨きが担当です。

Dさん 食事の準備はしないけど、その他の子どもの世話はしています。ステージ2かな。主菜だけなら作れます。副菜や同居する祖父母の分も作るとなると難しいですね。

Eさん いかがでしたか。食事の品数や栄養バランスを考えると、準備と子どもの見守りを同時にすること、そもそも毎日食事を作ることが難しいとの声もありました。皆さん各家庭で役割分担をしながら家事・育児を共有しておられるようです。夫婦がフルタイムで働くには、男性側の積極的な家事参加が不可欠です。ここまで読み終えた皆さんも、ご自身の家庭の分担について考えてみませんか。

